

今回のインタビューは、海田町老人クラブ連合会副会長の吉田愼一さんに、連合会の活動状況などについてお聞きしました。

聞き手 久留島元生 委員



魅力ある楽しい老人クラブと

生きがいのある生活を

海田町老人クラブ連合会副会長 吉田 愼一さん
よしだ けんいち

連合会の構成はどのようになっていますか。

まず、海田町内には二十二の単位老人クラブがあります。これは、自治会単位であつたり、あるいは二つの自治会にまたがるものなどがありますが、それらをまとめた組織が海田町老人クラブ連合会（海老連）なんです。二〇〇七年度当初の会員数は、千四百十六名です。海老連は、さらに郡老連・県老連・全国老連

の組織につながっています。

最近の活動状況を教えてください。

最近では、健康づくりと交流を深めるグラウンドゴルフ大会を開催しました。これは、年二回の開催で、毎回約二百名の参加があります。これ以外にも、「魅力ある楽しい老人クラブと生きがいのある生活」を目指して、海老連はいろいろな活動をしているです。たとえば：

- 高齢者相互が支援し合う友愛訪問、九月の長寿お祝い
- すみよい街づくりの奉仕活動として、それぞれの地区の公園や通学路の清掃活動
- 新聞論説委員の方などを招いた、教養講座の開催（これは二〇〇七年一月に実施し

たんですけど、約百三十名の参加があつたんです。）

- 機関紙「海老連だより」を年三回発行し、全会員に配布
- 社会見学旅行、指導者研修、高齢者交通安全教室などなどです。

二〇〇六年度海老連の年間行事には、延べ二千二十四人の方が参加しています。

副会長として、今後の課題は何だと思われれますか。

まずは健康づくりが第一と思うんです。健康チェック、体力測定などを踏まえた健康教室のような活動を、町の保健センターの指導を得ながら進めてみたいと考えています。

しかし、活動を増やすには



良いスコアを目指して

予算が伴うわけで、いろいろと支援をいただいていると思いますが、収入が減り支出の多い状況では予算のやりくりが大変です。

また、会員数がなかなか増えない。まだ働かなければいけないことと、まだまだ年寄りではないという自負を持つ方が多いように思います。どうすれば会員数を増やせるのか…、悩んでいるところですね。

今後ますますのご活躍を期待しております。